

【日 時】 平成 29 年 5 月 31 日 9:30～11:30

【出 席】協議会委員

学識経験者、地域の住民、保護者代表の 6 名

学校長

事務局職員 12 名

【会議録】

- 学校長挨拶
- 学校協議会概要説明等及び会長等選出
 - ①学校協議会委員の紹介
 - ②学校協議会の趣旨と概要及び配付資料説明
 - ③学校協議会「会長」及び「会長職務代理者」の選出
会長は細川 修氏、会長職務代理者は福地 功氏が承認される。
 - ④事務局職員自己紹介・事務局体制
- 学校見学
- 協議事項

① 校長より学校経営計画について、めざす学校像、中期的目標、本年度の取組内容について説明。

・ICT ではハード面は整備されてきたが、ソフトの活用はどうか。

⇒例えば地図ソフトを使って買い物に行き、音声装置で店員とやりとりする等コミュニケーションツールとして活用している。訪問の子どもには学校と通信し家庭での授業に活用している。

・看護師の体制が変わったなかで、研修の年間スケジュールはどのようになっているのか。また訪問籍の子どもが学校行事に参加するためにどのような計画をしているのか。

⇒校長マネジメント費で講師謝礼を確保し、医ケア人形を購入予定。6 月の医ケア委員会で年間スケジュールが決まる予定。訪問については夏までに校長が同行して、保護者の思いを聞き取りたい。

・医ケアの構成メンバーは。

⇒管理職、各学部の医ケア委員、養護教諭、看護師。呼吸器のケースはプロジェクトチームを組んでいる。

・災害時に地域とのかかわりはどのようになっているのか。土生団地と避難訓練等をしてはどうか。

⇒本校は避難所に指定されていないので、災害時は本校の子どもの避難を想定している。広域なので子どもの命を第一に守り服薬の管理等をしている。学校で何時間子どもを守れるか検討している。

・服薬管理について本校は進んでいる。和歌山では子どもの引渡し訓練の事例もあり、地域とのつながりを大切にしなければならない。

・社会福祉協議会に災害ボランティアセンターがある。地域に依存していくことが多いので相談してはどうか。

⇒社会福祉協議会とは大規模災害時の情報共有の仕方を検討している。夏レクに地域の方を招待する等検討している。

② 首席より学校教育自己診断の主旨説明。

③ 教頭より保護者からの意見・調査審議についての説明。

⇒要望については各分掌・学部に周知し課題を整理し改善できる部分については検討を進めていく。

・以前は傍聴席を設けていた。意識を持っている方もいるので復活してはどうか。

⇒今回は担任を通じて傍聴できる趣旨の案内をだしたが、参加者はいなかった。今後も席は用意する。

・受理されたかを知らせる手段は。回答書としてだしてはどうか。情報開示は。

⇒意見書の様式については決まっているので変更できないが、受理については連絡帳を通して確認できるようにする。学校協議会での意見書の内容について、意見を聞き整理した。整理した内容については保護者に知らせていく。

事務連絡、閉会

(・ 委員意見 ⇒ 事務局意見)